

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2018-11-01

No. 103

株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61851-21-1 Ed. 1.0 (2017-06) 電気車両 車載充電器 EMC 要件	3
IEC: 新規格リスト	9
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: 道路交通における高度かつ完全に自動化された車両の展開に関する決議	12
UNECE: 道路上の自動車の実ドライブ排出ガスを測定するグローバルな方法論	13
国際テーマ: 欧州市場監視の大幅な強化: RAPEX 及び ICSMS の増強が必要	14
国際テーマ: GSO: G マーク認証の最新情報	14

USA: FCC: KDB: TCB の機器認可前に、どんなデバイスに FCC のガイダンスが必要か?	16
USA: CPSC: 適用すべき消費者製品安全規則の決定を支援する新たな規制ロボットを開発	18
USA: EPA: metlabs: バッテリーチャージャー規制 要順守: 2018/6/13 日以降製造品	20
USA: EPA 国際エネルギースタープログラム 2018 年度 新着情報: コンピュータ運用細則等	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	24

EU: チュートリアル: EU 単一市場出荷時の製造会社の責任(8/8) 電磁両立性傘下製品	26
EU: 新しい電球規則: 標準的な無指向性のハロゲン電球の使用禁止	27
EU: エネルギーラベリング法制、及びエコデザイン法制関連 Web サイト情報	27
EU: 電池アライアンス: ヨーロッパで電池製造を実現する 1 年での大きな一歩	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	29
EU: ETSI: 新規格リスト	32

中国: CQC: 電動工具用バッテリー充電器の安全および EMC 認証業務開始に関する通知	33
中国: CQC: 電動工具用充電電池パックの安全認証業務開始に関する通知	33
中国: CQC: ポータブルデジタル機器用モバイル電源実施規則の改訂に関する通知	33
中国: CQC: GC マーク認証証書合格追跡 (GCTS) の新版使用規則	34
中国: 新規格リスト	34
台湾: 商品検査マークの使用に関する規定の一部の条文を改正	36
台湾: テレビのエネルギー消費基準および表示方法を改正、2019 年 7 月 1 日に発効	36
台湾: ディスプレイのエネルギー消費基準および表示方法を改正、2019 年 7 月 1 日に発効	37
台湾: エア・コンプレッサの許容消費エネルギー基準等の表示項目、方法および検査方式	37
台湾: 新規格リスト	38
韓国: 電磁両立性基準の改正 (案) の意見収束実施	39
韓国: 放送通信分野の国家標準の制定及び改正予告	39
韓国: 電磁波吸収率の測定基準の改正 (案) の意見収束実施	40
韓国: 電気用品安全基準の改正告示 (ポータブル密閉二次電池)	40

総務省: CISPR 35 「マルチメディア機器-イミュニティ要求事項」国内規格に対する意見募集	41
総務省: 情報通信審議会 電波利用環境委員会 電力密度評価方法作業班配付資料	42
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 30 年 10 月分)	42
経済産業省: JISC: 医療機器製造販売認証 JIS 規格改正のご案内	43
経済産業省: ISO: 日本発の「自動車運転時の車道境界逸脱防止システム」国際規格発行	43
国土交通省: UNECE: 車線変更支援機能に関する国際基準を導入	44
ちょっといっぽく〜小クイズコーナー〜湾岸地域諸国の認証製品のマーキングについて	15
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: IEC 61851-21-1 Ed. 1.0 (2017-06) 電気車両 車載充電器 EMC 要件

IEC 61851-21-1 Ed. 1.0 (2017-06) 電気車両の導電性充電システム - Part 21-1:電気車両 車載充電器の AC/DC 電源への導電性接続に対する EMC 要件

- 本第 1 版は、IEC 61851-21-2 とともに、IEC 61851-21 : 2001 を廃止し、置き換える。技術的な改訂である。本版には、IEC 61851-21 : 2001 と比較し、以下の重要な技術的変更が含まれる。
 - a) 本文書は、他の電氣的試験を含まず EMC 試験のみを扱う。
 - b) 試験セットアップがより正確に定義される。
 - c) 附属書 A「疑似回路網 AN、非対称疑似回路網 AAN、及び充電スタンドの試験セットアップへの組み込み」を追加した。

USA: FCC: KDB: TCB の機器認可前に、どんなデバイスに FCC のガイドランスが必要か？

- FCC がまだ個別のガイドラインを定めていない特定の種類の機器を認証するため、FCC は KDB 文書 388624 D01 に述べられている承認前ガイダンス (PAG) 手続きを採用した。一般的に、要求される試験手順、試験機器、あるいはデバイスの設定、サポート、または試験に必要な要求事項が定められていない場合に、TCB はこの PAG 手続きに従う必要がある。

USA: CPSC: 適用すべき消費者製品安全規則の決定を支援する新たな規制ロボットを開発

- CPSC は、中小企業が自身の製品に適用される消費者製品安全規則を決定するのを助ける新たな規制ロボットを開発した。

USA: EPA: metlabs: バッテリーチャージャー規制 要順守: 2018/6/13 日以降製造品

- 2018 年 6 月 13 日以降に製造される、米国市場向けのバッテリーチャージャーは、米国エネルギー省(DoE)の規制に従い、そのすべての動作および待機モードにおけるエネルギー効率測定試験を行い、一定の効率レベルを満たす必要がある。

EU: 新しい電球規則: 標準的な無指向性のハロゲン電球の使用禁止

- 2018 年 9 月 1 日から、エネルギー集約的で非効率なハロゲン電球は、EU 全域で販売されなくなる。

総務省: CISPR 35 「マルチメディア機器-イミュニティ要求事項」国内規格に対する意見募集

- CISPR 35 「マルチメディア機器の電磁両立性-イミュニティ要求事項」国内規格に対する委員会報告 (案) : 意見募集
- 「マルチメディア機器の電磁両立性 - イミュニティ要求事項」について、検討の結果、別添のとおり一部答申 (案) をとりまとめた。本国内規格と国際規格 CISPR 35 との間のデビエーションもここに纏められている。

社長の独り言

平成 30 年 10 月 15 日
濱口 慶一

台風も去り、急激に秋らしく冷え込む毎日が続きますが、皆様お変わりありませんか？お子さんのいらっしゃる方は秋の運動会などの学校行事で忙しいことと思います。皆様が順調にお過ごしであることを願っています。

前々回から、医療機器認証制度などで色々な製品の安全確認をさせて頂いている中で、製品安全に求められる方向から思うことについて書いていますが、今回は乾電池の使用に関して皆様と安全の面での考え方を共有したいと思うことを書きたいと思います。

電池使用の機器に関してはいくつかの重要な確認事項があると思います。

1. 電池の種類
2. 電池ホルダーの設計時ならびに使用時の注意点
3. 転極現象など

1. に関して、電池のサイズの規格が作られ、その後、電池の材料に適した材料が見つかり、改良してきたために、出力電流容量が大きい（内部抵抗の少ない）アルカリ電池、ニッカド電池、最近のリチウムイオン電池等は、両極の短絡事故を生じると極端に発熱したり、発火するものがあります。電池から電子回路間に、短絡電流で基板の細いパターンが焼き切れて発火しないように、できれば過電流保護装置やその代用となるものを組み込むなどの工夫が大切だと思うのです。そして何よりも取扱説明書や、可能であればバッテリーホルダーの中に、使用できる電池の種類を明記していただきたいと思います。

2. に関して、電池工業会から各種ガイドラインが発行されていますので、製品開発、設計を担当されている皆様には是非、ダウンロードしていただき、熟読されることをお勧めします。電池工業会のガイドラインは次の URL を参照ください。URL: <http://www.bai.or.jp/publication/books01.html>

3. に関して、転極現象とは、電池が過放電状態を継続することにより、電池電圧が 0V 以下（マイナス電圧を示す）になる状態をいいます。2 個以上の電池を接続して使用する場合、過放電するとこの転極現象が生じ、液漏れや破裂が起こりやすくなります。「使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。過放電させると液漏れ、破裂のおそれがあります。」のような注意書きを取扱説明書に記載する必要があるでしょう。（参照：電池工業会「乾電池使用機器の電池室・端子安全設計ガイドブック（第 2 版）」）

最近では製品を直接設計する企業が少なくなり、外国で開発設計された製品を輸入して日本国内で販売されるケースが多くなりました。電池工業会などの、日本の企業が集まってできている業界団体発行のガイドラインには、今までの色々な問題を解決した内容が掲載されていますので、開発・設計や安全性適合評価等に、是非とも利用していただきたいと思います。

別の話題になりますが、最近では USB コネクタを備えた機器、また、例えばパソコンの USB 端子から電力供給を受ける機器が多く市場に出てきています。USB の規格もどんどんバージョンアップされ、想定されるよりも大きな電流を流す USB 端子もでてきており、USB 端子を設けている機器、USB 端子から電力供給を受ける側の機器の双方で安全対策が必要と考えます。CB 申請の場合、IEC 62368-3(オーディオ/ビデオ、情報および通信技術機器—第 3 部：通信ケーブルおよびポートを通じての DC 電力伝達)が CB スキームで認められるまでは、USB ポートが組み込まれる製品規格の要求事項に従って試験する、とされています。（(P)DSH2069A。現時点で非公開）現在、弊社では USB コネクタに接続される機器が情報処理機器以外の場合でも、IEC 62368-1 の Limited Power Source と同等の評価を行っています。

今回は電池と USB を取り上げましたが、皆様はいかがお考えでしょうか？いろいろなご意見をいただければ幸いです。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作者者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター **EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2018-11-01 (No. 103)**

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2018 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。